



＝令和7年度竜王小学校だより＝

竜の子

令和7年9月5日

No. 5

校長 松井 渉

凡事徹底

2学期最初の朝、みんなが笑顔で、元気に学校に来てくれるといいな、そんな気持ちで子どもたちを待っていました。子どもたちは多くの荷物を持ち、暑い中、笑顔で登校をしてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。子どもたちがいてくれるからこそこの学校と改めて思いました。

さて、今年はどのような夏休みだったのでしょうか？熱中症警戒アラートが発令されるような暑い日が続き、外に出るの活動が難しい日も多かったのではないのでしょうか。子どもたちからは、海やプール、花火大会に行ったことなど、たくさん楽しい思い出を聞くことができました。また、読書感想文や夏休みの友などの宿題を頑張ったという話も聞くことができました。

1学期の終業式では、「夏休み中に、自分でお手伝いを見つけて続けて取り組んでください。」という話をしました。2学期の始業式では、下記のような話をしました。

自動車のタイヤとか部品を売っている黄色い帽子が目印のお店をつくった鍵山秀三郎さんという方の話をします。

鍵山さんは若いころ仕事をしていた会社で、働いている人の言葉遣いやお客さんへの態度が良くなかったのが、いやな思いをしていたそうです。いつも辞めたいと思っていたのですが、そんな中で自分にできることはないかと考え、掃除をしようと思い立ちました。まわりがきれいになれば、雰囲気もよくなるのではないかと考えたのです。

でも、掃除をしていると、それで社長のご機嫌とりをしていると思われ、いじめられたりしたそうです。鍵山さんは、それにも負けずに、ずっと掃除を続けましたが、みんなにわかってもらうまで4年もかかったそうです。

その後、鍵山さんは会社をつくって社長になりますが、社員の態度はやっぱりよくなかったそうです。鍵山さんは、そこでもトイレ掃除を続けたそうですが、トイレ掃除しかない社長だとバカにする社員もいたそうです。会社はなかなかうまくいかず、鍵山さんはずいぶんと苦労しましたが、トイレ掃除だけはやめずにずっと続けたそうです。

それが少しずつ社員の気持ちを変えていきました。また、社長の考えに合わない社員はやめていきました。そして、社長の気持ちだけが通じる社員だけが残ったのだそうです。

やがて、社員が自主的に掃除をするようになりました。しかも、会社の中だけでなく、近所の掃除もするようになります。そうすると「あの会社は掃除をよくやる会社だ。」と評判になりました。評判になると社員もうれしいので頑張って働くようになり、会社の雰囲気も売り上げもどんどんよくなっていったそうです。

鍵山さんは、誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して続けたのです。何でもない平凡なこと、誰にでもできる簡単なことでも、誰にもできないくらい長く続けると素晴らしいことが起こるのです。それくらい、「続ける」という行動には大きな意味と効果があります。

みなさんのなかにも、1つのことをなかなか続けられない人がいると思います。続けるか続けないかの分かれ道は、そのときにそれをやるかやらないかだけです。やればできること、それをやるべきときに強い意志でやることだけです。

2学期は、何か1つ続けたいことを決めて、続けてみてください。

ホップ ステップ ジャンプ



9月5日（金）、2学期の代表委員任命式が行われました。

この代表委員を中心に、3学期の大きなジャンプに向けて、2学期のステップを大切にしてほしいと思います。

保護者の皆様の力に感謝です！～PTA 早朝作業～

8月30日（土）には、PTA 早朝作業へ多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。おかげをもちまして、子どもと教職員では、手が届かない部分の作業ができました。昨年度は降雨により、PTAの方々による環境整備作業ができなかったため、校庭まわりの落ち葉に加え、適度な雨と晴天によって、特に校庭の草が成長し整備しきれない状況でした。

保護者の皆様のお力で草刈りなどを行っていただき、多くの雑草を取る事ができました。PTAの皆様の力の大きさを改めて感じました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

